

大腸がんに関する全国意識調査(精密検査について)集計結果報告

～大腸がん検診結果で陽性(要精密検査)となった場合、「精密検査を必ず受ける」と回答した人は61.4%～

NPO法人プレイブサークル運営委員会(所在地:東京都)は、平成24年3月から4月にかけて、大腸がん検診対象世代である40代～60代の全国男女に大腸がん検診に関するインターネット意識調査を実施し、13,896名から回答を得ました。昨年7月に一次検査の集計結果を公表しましたが、精密検査の集計結果の公表について多くのご要望をいただいたため、このたび追加公表することになりました。大腸がん検診の一次検査(便潜血検査)で陽性となった場合に「精密検査(大腸内視鏡検査等)を必ず受ける」と回答した人は61.4%程度に留まり、精密検査を受けない人があげる理由として「自覚症状がないから」が25.6%、「どんな検査なのか知らないから」が22.9%であることが判明しました。

日本では大腸がんに罹る数がこの30年で約6倍に増え、女性のがん死亡原因の第一位*1となっています。早期発見・治療であれば90%以上が治癒しますが、進行するまでほとんど自覚症状がなく、定期的な検診の受診が大切になります。しかしながら40歳以上を対象とした大腸がん検診の受診率は約24%*2と低い状況です。今回集計した大腸がん精密検査に関する意識調査では、未受診の理由として「自覚症状がない」「どんな検査か知らない」ことをあげる人が多く、大腸がん検診の一次検査と同様に精密検査の受診率を向上させるために更なる普及啓発活動が必要であることを再認識しました。大腸がん検診に関する全国意識調査は毎年継続して実施・報告してまいります。

*1独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター2009年調査 *2厚労省 平成22年国民生活基礎調査

【調査概要】 回答数：全国47都道府県13,896名 (男性7,050名、女性6,846名)

実施時期：平成24年3月～4月 対象年齢：40代～60代 調査方法：インターネット意識調査

■大腸がんの精密検査の受診有無

「一次検査の便潜血検査で陽性(要精密検査)となった場合どのように対処しますか?」という設問の解答は以下の通りとなりました。

- ・精密検査(大腸内視鏡検査等)を必ず受ける：61.4% ・医師に相談する：25.4%
 - ・しばらく様子を見る：4.4% ・特に検査を受けようと思わない：3.9%
 - ・何もせず、翌年も陽性となれば精密検査を受ける：3.0% ・自覚症状がでたら精密検査を受ける：2.0%
- がんの死亡率低減のためには、一次検査だけでなく精密検査の受診が重要にも関わらず、精密検査を必ず受けると回答した人が61.4%に留まることが分かりました。

■大腸がんの精密検査を受けない理由

一次検査の便潜血検査で陽性(要精密検査)となった場合に「精密検査(大腸内視鏡検査等)を必ず受ける」「医師に相談する」と答えなかった人に、その理由を質問したところ、以下の通りとなりました。

- ・自覚症状がないから：25.6% ・どんな検査なのか知らないから：22.9%
- ・検査に時間がかかりそうだから：17.0% ・いつでも医療機関を受けられるから：16.1%
- ・がんが見つかるのが怖いから：15.2% ・痛くて辛そうだから：14.9%

男女別で集計した場合、若干傾向に違いがあることがわかりました。

- 【女性】
- ・自覚症状がないから：23.9% ・どんな検査なのか知らないから：20.4%
 - ・痛くて辛そうだから：19.7% ・がんが見つかるのが怖いから：17.8%
 - ・検査に時間がかかりそうだから：17.0% ・恥ずかしいから：15.7%
- 【男性】
- ・自覚症状がないから：26.9% ・どんな検査なのか知らないから：24.7%
 - ・検査に時間がかかりそうだから：17.0% ・いつでも医療機関をうけられるから：16.7%
 - ・がんが見つかるのが怖いから：13.3% ・痛くて辛そうだから：11.4%

■大腸がん一次検査の受診経験と精密検査の受診意識の傾向

一次検査の便潜血検査で陽性となった人がどの様な対応をするか聞いたところ、以下の通りとなりました。

- ・毎年一次検査を受けている人の場合、72.3%が「精密検査を受ける」と回答
 - ・一次検査を全く受けたことがない人の場合、47.7%が「精密検査を必ず受ける」と回答
- 一次検査の受診の有無によって精密検査受診の意識に差があることが分かりました。

※昨年7月に発表しました大腸がん検診(一次検査)受診有無、未受診理由等の集計結果は別添【参考資料】を参照願います。

本リリースの掲載・取材に関するお問い合わせ先

NPO法人プレイブサークル運営委員会/広報担当：松井、戸田、山岡

TEL:03-6901-4245 FAX:03-6302-0434 E-mail: pr@bravecircle.net

[NPO法人プレイブサークル運営委員会は官民連携により全国で大腸がん検診啓発活動を展開する団体です]

http://www.bravecircle.net/

【調査概要】 全国47都道府県

実施時期:平成24年3月~4月

対象年齢:40代~60代

調査方法:インターネット意識調査

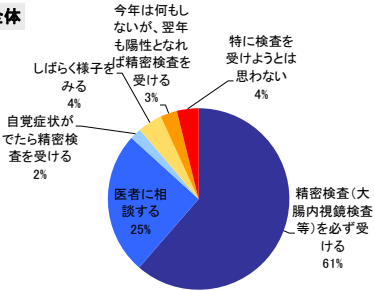
回答数:13,896名(男性7,050名、女性6,846名)

<大腸がん精密検査の受診有無>

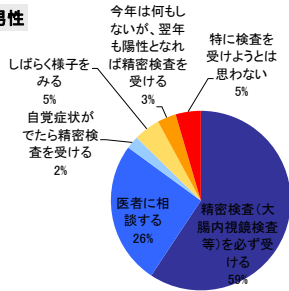
設問:便潜血検査で陽性(要精密検査)となった場合はどのように対応しますか?最もあてはまるものを1つお答えください。(単一回答)

		n=	精密検査(大腸内視鏡検査等)を必ず受ける	医師に相談する	自覚症状がでたら精密検査を受ける	しばらく様子を見る	今年は何もしないが、翌年も陽性となれば精密検査を受ける	特に検査を受けようとは思わない
全体		13,896	61.4	25.4	2.0	4.4	3.0	3.9
性別	男性	7,050	59.3	25.7	2.3	4.7	3.4	4.5
	女性	6,846	63.5	25.0	1.8	4.0	2.6	3.2

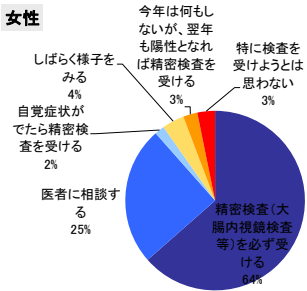
全体



男性



女性



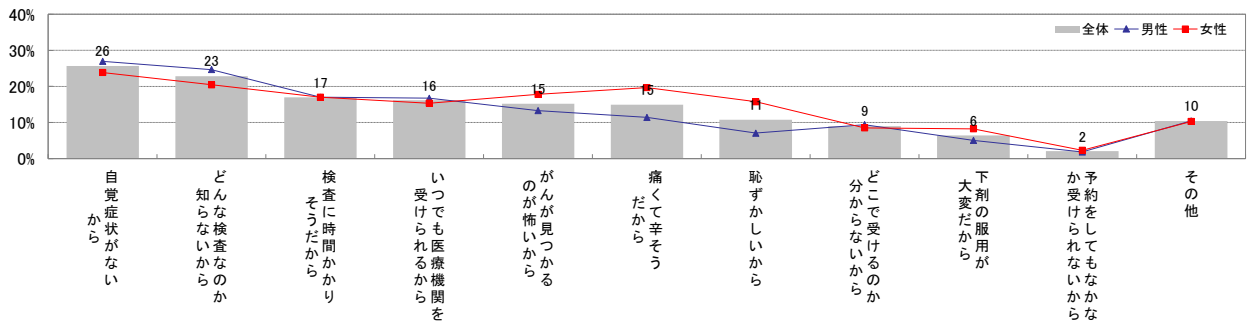
<大腸がんの精密検査を受けない理由>

設問:精密検査を受けない、また医師に相談しない理由をお聞かせください。(複数回答)

(「一次検査の便潜血検査で陽性(要精密検査)となった場合に「精密検査(大腸内視鏡検査等)を必ず受ける」「医師に相談する」と答えなかった人を対象)

		n=	自覚症状がないから	どんな検査なのか知らないから	検査に時間かかりそうだから	いつでも医療機関を受けられるから	がんが見つかるのが怖いから	痛くて辛そうだから	恥ずかしいから	どこで受けるのかわからないから	下剤の服用が大変だから	予約をしてもなかなか受けられないから	その他
全体		1,842	25.6	22.9	17.0	16.1	15.2	14.9	10.7	9.0	6.4	2.0	10.4
性別	男性	1,054	26.9	24.7	17.0	16.7	13.3	11.4	7.0	9.4	5.0	1.8	10.4
	女性	788	23.9	20.4	17.0	15.4	17.8	19.7	15.7	8.5	8.2	2.3	10.3

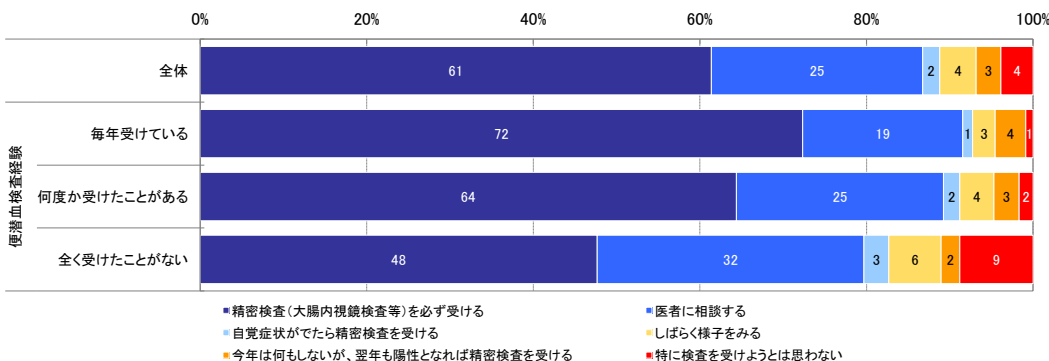
※全体スコアで降順にソート



<大腸がん一次検査の受診経験と精密検査受診意識の傾向>

設問:便潜血検査で陽性(要精密検査)となった場合はどのように対応しますか?最もあてはまるものを1つお答えください。(単一回答)

		n=	精密検査(大腸内視鏡検査等)を必ず受ける	医師に相談する	自覚症状がでたら精密検査を受ける	しばらく様子を見る	今年は何もしないが、翌年も陽性となれば精密検査を受ける	特に検査を受けようとは思わない
全体		13,896	61.4	25.4	2.0	4.4	3.0	3.9
便潜血検査経験	毎年受けている	4,858	72.3	19.2	1.2	2.7	3.7	0.9
	何度か受けたことがある	4,229	64.4	24.9	2.0	4.1	3.0	1.7
	全く受けたことがない	4,809	47.7	32.0	3.0	6.3	2.2	8.8





BRAVE CIRCLE

大腸がん撲滅キャンペーン



大腸がん検診の一次検査は 簡便な便潜血検査です

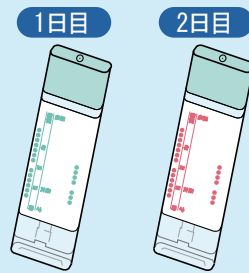
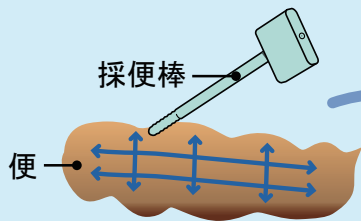
一次検査

- 2日間の便を採って医療機関等に提出します。
- 食事制限の必要はありません。

採便方法

検査精度を高めるため、採便棒を使い、便の表面のいろいろなところをまんべんなくこすり取るようにします。

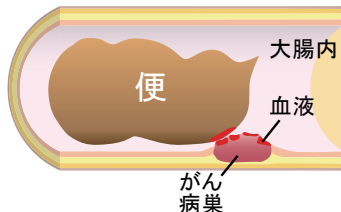
こすり取った棒はケースに入れて冷蔵庫で保管します。
※密閉された容器のため、汚染などの心配はありません。



医療機関等へ

大腸にがんやポリープなどがあると、便に血液が付着することがあります。

便潜血検査で、その微量な血液を調べるのです。



陰性 (-)

受診者の約7%が陽性 (+) となります

陽性 (+)

精密検査

大腸内視鏡検査

大腸内視鏡検査で行うことが困難な場合、「注腸エックス線検査」など、ほかの検査を行うことがあります。

異常なし

異常あり

年1回の定期的な検診

診断

精密検査受診者の約6%が大腸がん(大腸がんの疑いも含む)で、約62%は良性疾患と診断されています。

2009年度地域保健・健康増進事業報告より集計

大腸がんになる可能性は常にあり、次の検診までに見つかるがんもあります。
自覚症状がある場合は、必ず病院で診察を受けてください。